

平成二十八年年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア専攻

### 注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
- 四、解答時間は、一五〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(大澤真幸『問い』の読書術 朝日新聞出版、二〇一四年、一四〇三四頁、抜粋・一部改変)



問一 本文の論旨を四〇〇字以内でまとめなさい。

問二 「金銭的インセンティブ」を要求しない根本に何があるか、本文の内容を踏まえて、あなたの考えを六〇〇字以内で述べなさい。

平成二十八年年度入学試験問題（前期日程）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 琉球アジア文化専攻

出題の意図

国際言語文化学科・琉球アジア文化専攻は、琉球アジア言語文化圏（沖縄、日本、中国、台湾、朝鮮半島など）の言語・文学・文化・歴史・民俗などに強い関心を持ち、彼我の相違と類似性に目を向けつつ主体的・積極的研究をし、当該地域への理解を深めることを目指している。したがって、この専攻の入学希望者には、これら諸地域の文化への深い関心はもとより、そうした文化を生み出す社会の仕組みへの持続的な探究心が要求される。問題文は、「市場はなぜ道徳を締め出すのか」というテーマで現在の「市場社会」について述べたマイケル・サンデルの書籍『社会学における「インセンティブ」や「金銭的インセンティブ」によって「市場による道徳の締め出し」が行なわれるとともに、「金銭的インセンティブ」の逆効果についてその要因を考察した文章を正確に読み取り、論旨を的確に把握できるかを問うことにある。加えて、本文で提示されている「金銭的インセンティブ」を要求しない事例においてその根本に何があるのかの意見を論述させることで、問題文に対する受験生の理解力、および独自の発展的な思考力や論理構成力、言語表現力などをみることにある。